

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

小学校教諭（講師含む）

評価領域		着眼点
I 教科指導等	指導計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、児童の実態に即した指導計画を作成している。 ・授業の充実を図るため、常に教材研究に努めている。 ・適切な指導計画に基づき、年間を通じて計画的に授業を進めている。 ・日頃から指導計画を見直し、その工夫・改善に努めている。
	学習指導と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対する発問、指示、板書などが適切で、授業が円滑に展開されている。 ・児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導・支援を行っている。 ・指導方法や指導形態を工夫して、児童の主体的な学習活動を展開している。 ・指導と評価の一体化を図り、指導の改善や児童の学習意欲の向上に努めている。 ・学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実に努めている。
II 学年・学級経営・生徒指導等	学年・学級経営、生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的態度を育成している。 ・学級・学年集団を適切に指導するとともに、児童一人一人のよさを生かしている。 ・教育相談的な対応に心がけ、児童理解に努めながら適切な生徒指導を行っている。 ・教員間で学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努めている。 ・家庭や地域との情報交換を行い、連携して指導している。
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。 ・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。 ・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。